

## 創刊にあたって

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロは 2003 年に新潟県十日町市松之山の雪深き里山のど真ん中に誕生しました。その活動の目標は「自然を活かして地域を創ること」であり、その達成に向けてサイエンスの視点から様々な活動をこれまで展開して参りました。活動のジャンルは生物多様性科学や保全生態学といった基礎的な学術調査研究から博物館展示や教育プログラム、観光資源の開発など多岐に渡ります。市民と研究者がコラボレーションして地域の自然・文化を調べる「市民協働調査」も「森の学校」キョロロが誇る重要な活動の 1 つです。

この度、これらの活動の公表先として『「森の学校」キョロロ研究報告』を創刊いたしました。本雑誌は当館のかつての紀要雑誌「雪里研究」の後継誌となります。本雑誌にはこれまで「森の学校」キョロロに在籍した研究員や学芸員等の研究活動や教育普及活動の成果が掲載され、その中には新潟県中越地方の自然や里山文化の理解・活用を促しうる貴重な情報も含まれております。また本雑誌では発行形式をオンライン発行と致しました。これにより公表した成果を多くの方々に閲覧頂けると考えております。

まだ誕生したばかりの本雑誌ですが、今後、様々な研究成果や活動報告を蓄積・発信し、最終的には「自然を活かした地域創り」の発展に貢献できるよう努めて参ります。今後、本雑誌の発行にあたって暖かいご支援とご教示を頂ければ幸いに存じます。

十日町市立里山科学館 越後松之山「森の学校」キョロロ

館長 村山 暁